

【資料5】

茅ヶ崎市景気動向調査（6月）結果

1. 調査期間 平成29年6月現在
2. 調査対象 茅ヶ崎商工会議所会員より無作為抽出
※大型店については茅ヶ崎市大型店連絡協議会加盟店舗
※調査用紙を郵送しファックスで回収
3. 回収状況

業種	調査対象数	回答数	回収率
商業	117	15	12.8%
大型店舗	12	6	50.0%
建設業	74	25	33.8%
製造業	53	23	43.4%
サービス業	90	21	23.3%
飲食業	54	8	14.8%
合計	400	98	24.5%

4. 調査項目 月の売上・利益・業況(総合的な判断)等についての状況(DI値を集計)
※DI値(景気判断指数)は、売上・利益等の判断状況を表すものであり、ゼロを基準として、プラス値は景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向を示す回答の割合が多いことを示す

5. 茅ヶ崎市経済の業況
 - (1) 業況(総合的な判断)

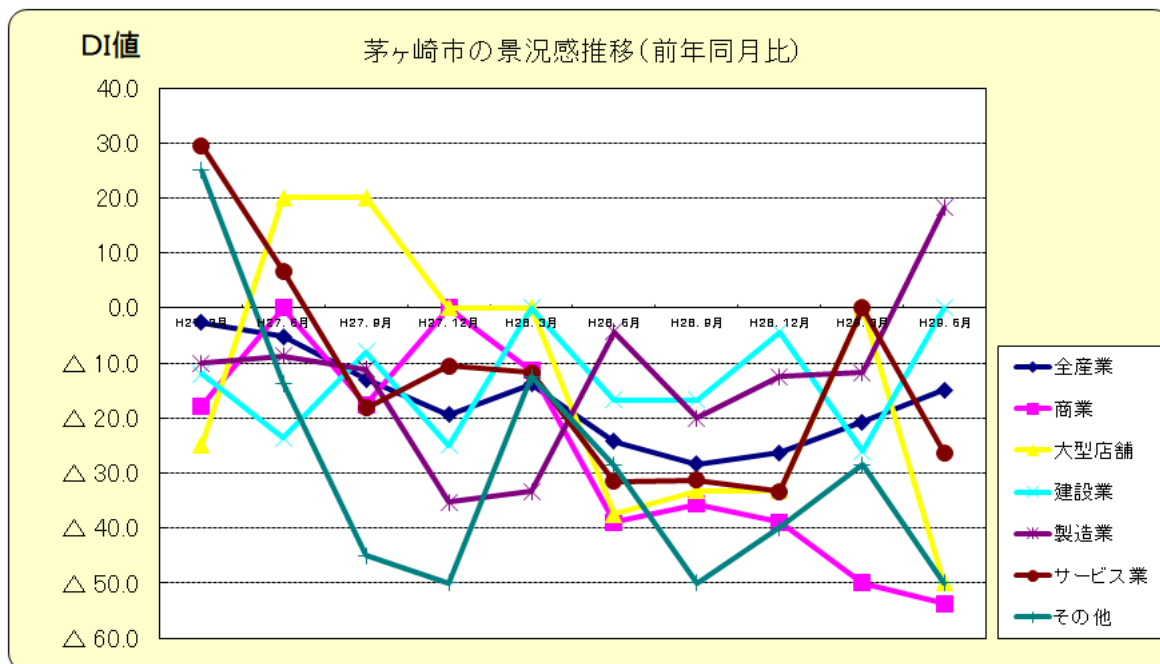
	茅ヶ崎市			全国	
	前年6月比	29年3月比	先行き見通し	H28.6月	先行き見通し
全産業	△14.9	△17.4	△12.6	△14.5	△19.5
商業	△53.8	△46.2	△50.0	△20.3	△29.8
大型店舗	△50.0	△20.0	△20.0	—	—
建設業	0.0	△8.4	△8.7	△14.3	△16.7
製造業	18.2	△13.6	14.2	△8.6	△15.3
サービス業	△26.3	△15.8	△22.2	△8.8	△9.6
その他	△50.0	△25.0	△18.8	—	—

- (2) 業況 ～製造業と建設業に回復の兆し～
＜茅ヶ崎市＞

市内の全産業のDI値はマイナス14.9であり決して良い状況とは言えません。特に市民生活に密着している商業に関しては大型店舗も含め、DI値はマイナス50を超えており、市民の購買意欲が大きく下がっていることが分かります。大型店舗は積極的な販促を展開し、前回調査では回復の傾向を示していましたが、4月以降の落ち込みはその反動とも考えられます。大型店舗とほぼ同じ動きを示していたのがサービス業ですが、今回お大型店舗と同様に業況が悪化しています。生活関連サービスが落ち込んでいると思われま

その一方で業況が大きく改善したのが製造業です。平成28年9月調査を底に回復基調を示していましたが、今回の調査ではDI値がプラスに転じ18.2にまで上がりました。大手製造業の業績回復効果がやっと茅ヶ崎市の製造業に及んできたと考えてよいのではないのでしょうか。そして、新たな期待をもたらしているのが建設業です。前回3月の調査ではマイナス30まで下がりましたが、今回はプラスマイナスゼロまで回復しました。首都圏ではターミナル駅周辺の再開発と東京オリンピック・パラリンピックに向けた建物や施設の整備が始まっています。市内の建設業者にも受注の可能性が高まってきたのではないのでしょうか。

業種によって業況に差はありますが、産業全体では平成28年9月の調査を底にして、緩やかな回復傾向を示しています。働き方改革等によって、茅ヶ崎市民の所得が増えて消費が活発になることを期待したいと思えます。



	H27.3	H27.6	H27.9	H27.12	H28.3	H28.6	H28.9	H28.12	H29.3	H29.6
全産業	△2.7	△5.2	△13.0	△19.4	△13.8	△24.2	△28.4	△26.3	△20.8	△14.9
商業	△17.8	0.0	△17.6	0.0	△11.4	△38.9	△35.7	△39.0	△50.0	△53.8
大型店舗	△25.0	20.0	20.0	0.0	0.0	△37.5	△33.3	△33.3	0.0	△50.0
建設業	△12.0	△23.6	△8.6	△25.0	0.0	△16.7	△16.7	△4.4	△26.1	0.0
製造業	△10.0	△8.7	△11.1	△35.3	△33.4	△4.3	△20.0	△12.5	△11.8	18.2
サービス業	29.5	6.7	△18.2	△10.5	△11.8	△31.5	△31.3	△33.4	0.0	△26.3
その他	25.0	△13.7	△45.0	△50.0	△12.5	△28.6	△50.0	△39.9	△28.5	△50.0

※「△」はマイナスを表す。

※ 表中、「商業」欄は小売業の数字を使用。

6月22日に政府が発表した月例経済報告では現状を次のように説明しています。

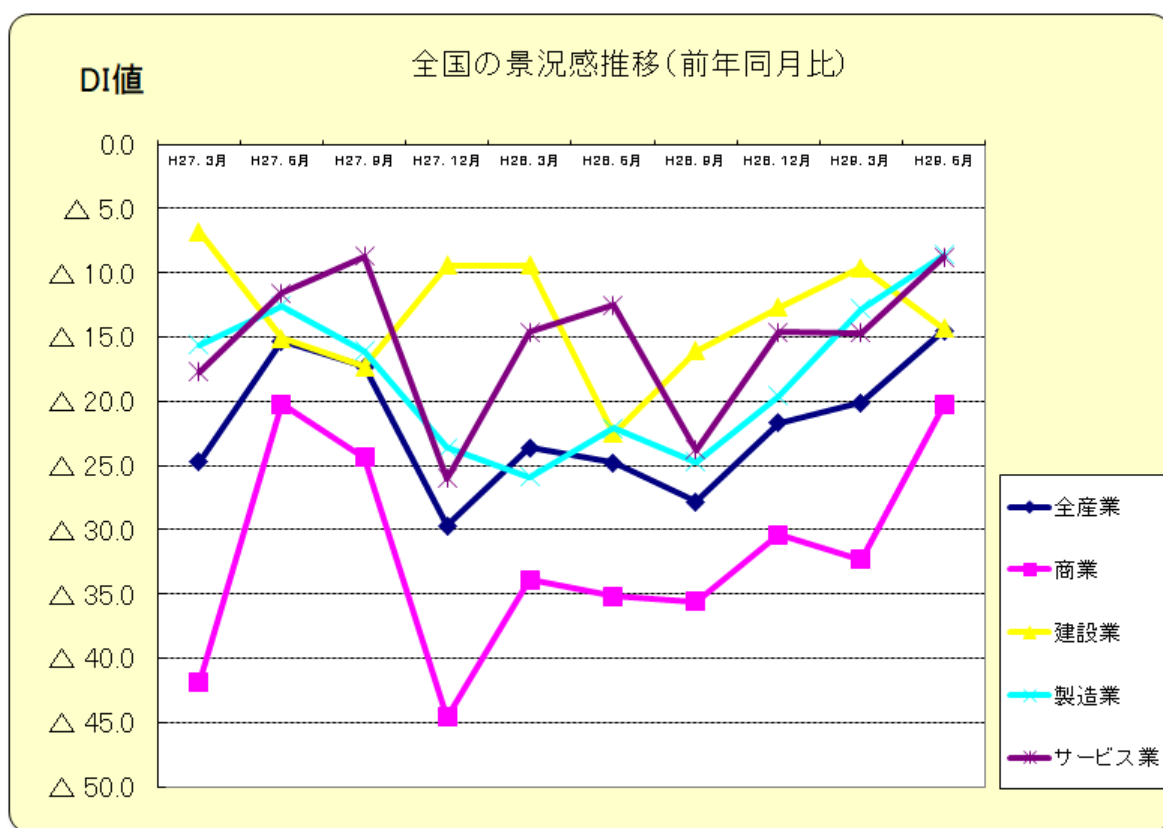
景気は、緩やかな回復基調が続いている。

- ・個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・設備投資は、持ち直している。
- ・輸出は、持ち直している。
- ・生産は、持ち直している。
- ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、改善している。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・消費者物価は、横ばいとなっている。

<全 国>

	H27.3	H27.6	H27.9	H27.12	H28.3	H28.6	H28.9	H28.12	H29.3	H29.6
全産業	△24.7	△15.3	△17.3	△29.7	△23.6	△ 24.8	△27.8	△21.7	△20.1	△14.5
商業	△41.9	△20.2	△24.4	△44.6	△33.9	△ 35.2	△35.6	△30.4	△32.3	△20.3
大型店舗	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設業	△6.8	△15.1	△17.3	△9.4	△9.4	△22.5	△16.1	△12.7	△9.6	△14.3
製造業	△15.6	△12.6	△16.1	△23.6	△25.9	△22.1	△24.7	△19.6	△12.8	△8.6
サービス業	△17.7	△11.6	△8.7	△26.0	△14.6	△12.5	△23.8	△14.6	△14.7	△8.8
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※『全国』の数値は全国各地の商工会議所が、その管内に所在する各業種組合等にヒアリング調査したものを、日本商工会議所がまとめた LOBO 調査のものです。



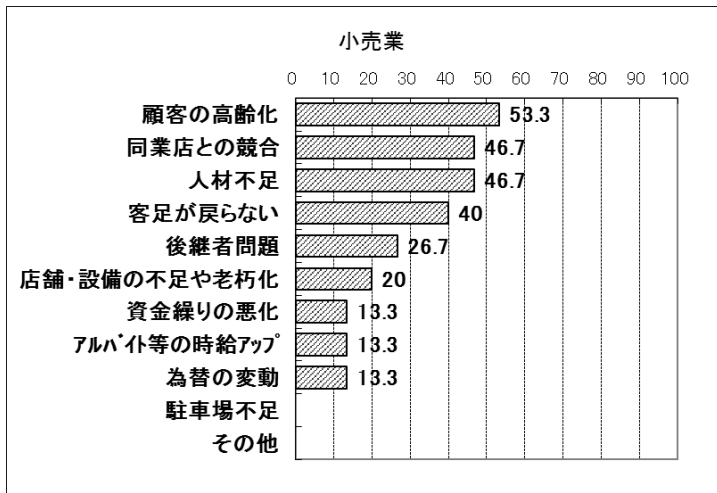
月例経済報告では次のような先行き見通しです。

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

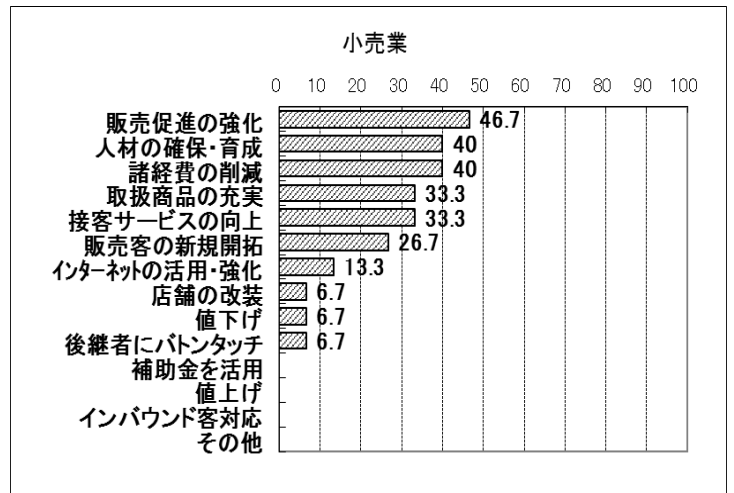
6. 主要業種の経営課題・今後の対策

(1) 小売業

① 経営課題

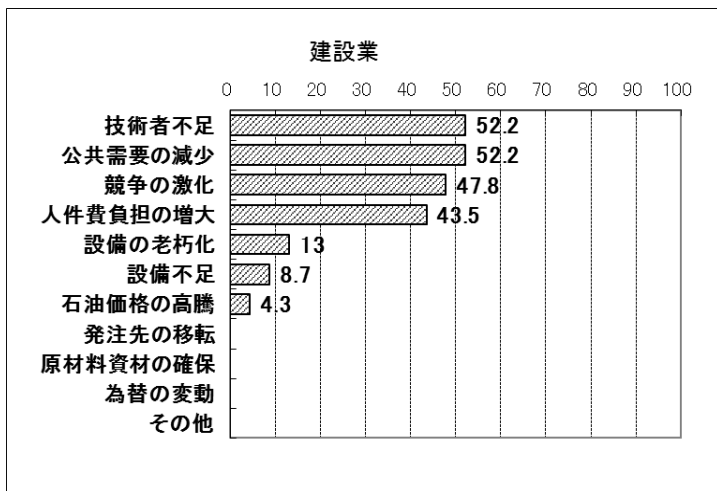


② 今後の対策

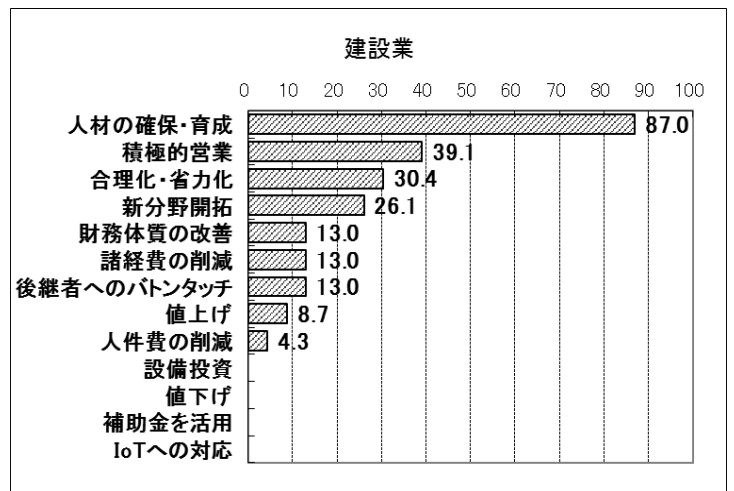


(2) 建設業

① 経営課題



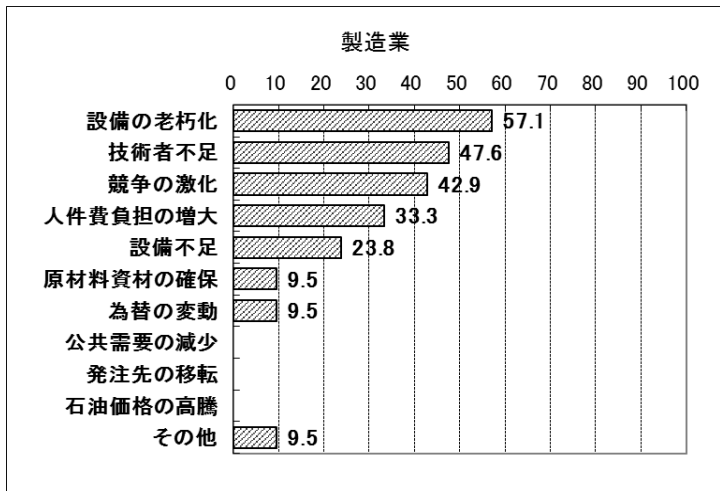
② 今後の対策



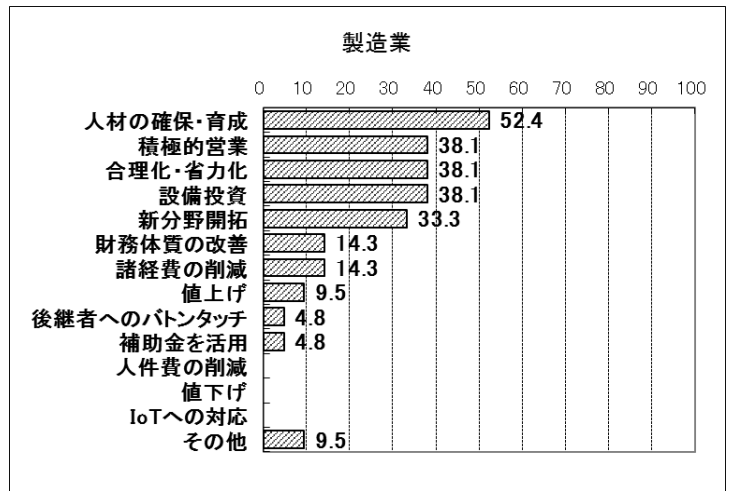
6. 主要業種の経営課題・今後の対策

(3) 製造業

① 経営課題

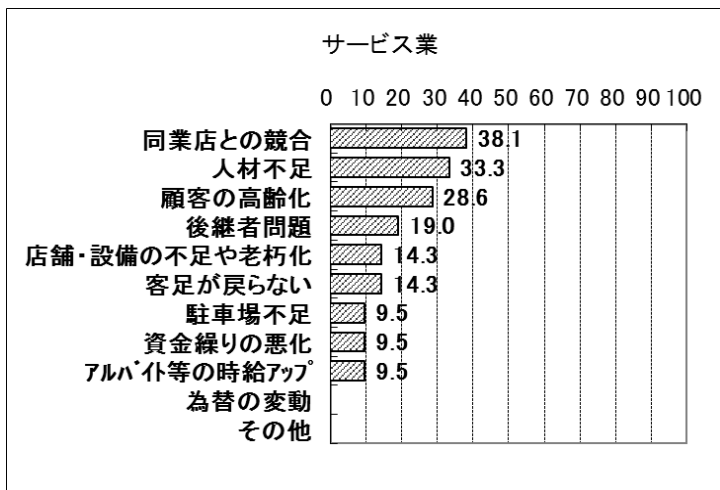


② 今後の対策

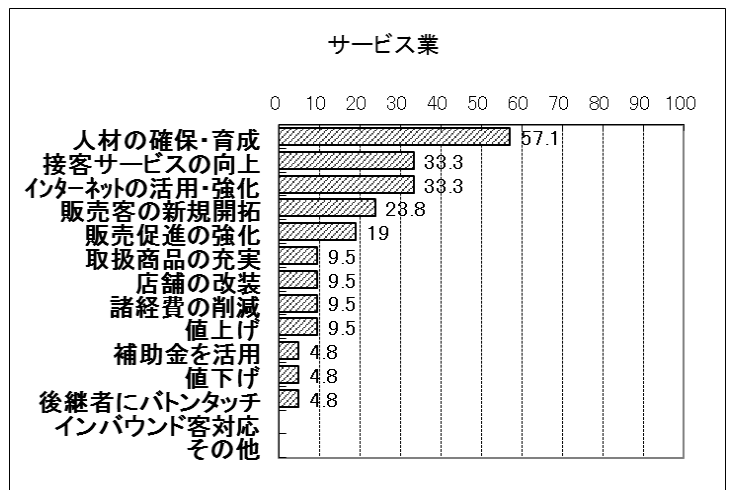


(4) サービス業

① 経営課題



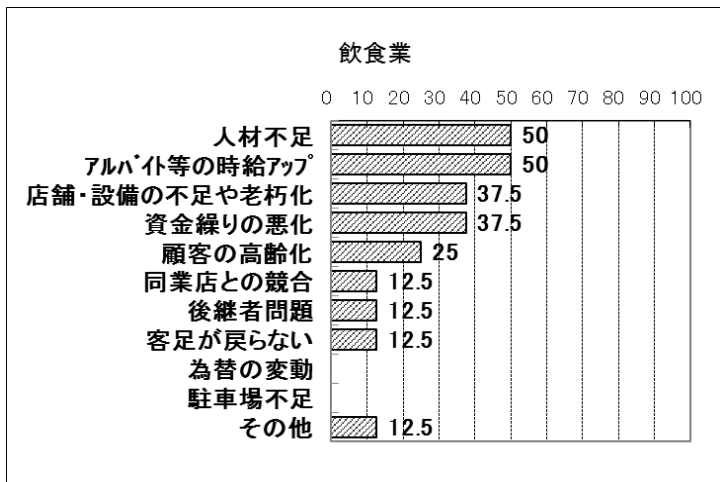
② 今後の対策



6. 主要業種の経営課題・今後の対策

(5) 飲食業

① 経営課題



② 今後の対策

